

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月7日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 木村 有仁
 問合せ先責任者（役職名） 経理財務部長（氏名） 篠崎 史朗（TEL）03-5822-6170
 半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	19,349	3.2	937	△57.0	831	△59.7	570	△59.0
2025年3月期中間期	18,743	24.5	2,178	67.9	2,060	52.1	1,391	51.7
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期中間期	71.83		—					
2025年3月期中間期	175.27		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	64,120	25,275	39.4
2025年3月期	65,864	24,831	37.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 25,275百万円 2025年3月期 24,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2026年3月期	—	20.00			
2026年3月期（予想）			—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	7.3	2,800	△31.8	2,600	△35.0	2,000	△39.0	251.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

（注）業績予想につきましては、現時点で入手できる情報に基づき可能な範囲で合理的に算定しております。実際の業績等は今後の世界情勢等により異なる可能性があり、修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	8,143,390株	2025年3月期	8,143,390株
2026年3月期中間期	206,602株	2025年3月期	206,602株
2026年3月期中間期	7,936,788株	2025年3月期中間期	7,936,826株

発行済株式数に関する注記

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
（1）中間貸借対照表	4
（2）中間損益計算書	6
（3）中間キャッシュ・フロー計算書	7
（4）中間財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8
（収益認識関係）	8

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における海外経済は、米国の関税措置を巡る先行き不透明感から景気の下振れリスクが高まる中でも、全体としては底堅く推移しました。米国では個人消費やAI関連設備投資が下支えし、景気は堅調に推移しましたが、関税措置の影響から一部に減速の兆しも見られました。中国では消費刺激策の効果により一時的な持ち直しが見られたものの、その後の国内需要の低迷や外需の鈍化により総じて低調に推移しました。欧州はサービス関連需要は底堅さを保ったものの、製造業での生産が低調に推移しており、全体としては横ばい圏での推移となりました。

わが国経済は、所得・雇用環境の改善を背景に、サービス消費やインバウンド需要が堅調に推移した一方、関税措置影響などから輸出が減少し、外需が景気の下押し要因となっています。引き続き、米国の関税政策を巡る国際的な景気不透明感や地政学的リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社事業の主要市場である電子材料業界は、引き続きAI関連半導体デバイスの需要が市場成長を牽引しました。一方、スマートフォンやPC向け半導体材料の需要は依然として本格的な回復には至らず、車載向け材料についても力強さを欠く状況が続きました。

このような状況のなか、当社は、2023年3月期からスタートした、5ヵ年の中期経営計画「Beyond50」に基づき、今後も需要拡大が期待される半導体市場への供給力強化を進めてまいりました。2024年10月には先端半導体向け感光材の生産能力を高めるための大規模な新規生産設備が完成し、稼働・償却を開始、顧客向けに製品認定・サンプル出荷が開始しております。今後の製品認定・量産安定化に伴い、業績向上に資するものと考えております。

当中間会計期間においては、先端半導体向け感光性材料や高純度溶剤が堅調に推移した一方、汎用品や香料材料が減少したことから売上高は19,349百万円(前年同期比+605百万円、+3.2%)と増加しました。利益面につきましては、先端半導体向け感光材の大型設備などの稼働開始により減価償却費が929百万円増加、ほか人員増強等の固定費が増加したことに加え、最先端材料の工程長期化に伴い、低価法の影響約400百万円などから営業利益は937百万円(前年同期比△1,241百万円、△57.0%)、経常利益は831百万円(前年同期比△1,229百万円、△59.7%)、中間純利益は570百万円(前年同期比△821百万円、△59.0%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(感光性材料事業)

半導体向け材料は、AI向け半導体デバイスの需要が市場を牽引する中において、当社の先端フォトレジスト向け材料の販売は前年同期比では増加しましたが、一般半導体向けはやや減少しました。ディスプレイ向け材料は、消費者向けの中国の補助金政策などの効果によりパネル生産が一定レベルで保たれたことから、当社製品の販売も堅調に推移しました。

この結果、同事業の売上高は11,760百万円(前年同期比+557百万円、+5.0%)となりました。また、先端半導体向け材料の大型設備や生産情報システムの稼働開始により、減価償却費や人員増強等の固定費が大幅に増加したことに加え、最先端材料の工程長期化に伴い、低価法の影響約400百万円などから営業損失は305百万円(前年同期比△1,335百万円)となりました。

(化成品事業)

電子材料関連製品は、生成AIの普及拡大によるデータセンターの需要増加などにより、高純度溶剤の販売も堅調に推移し、前年同期比で売上は増加しました。

香料材料関連製品は、米国の関税措置の影響を受け、サプライチェーン上での在庫調整や為替影響により、前年同期比では売上が減少しました。

タンクターミナル関連は、国内品の需要に加えて輸入品に対する保管需要も堅調なことから、タンクの引き合いは依然として旺盛な状況が続き、さらに、当社初の無機化学品専用タンクの運用を開始したことによりタンク契約率は高水準で推移しました。

この結果、同事業の売上高は7,588百万円(前年同期比+48百万円、+0.6%)、営業利益は1,242百万円(前年同期比+94百万円、+8.2%)となりました。

（2）財政状態に関する説明

当中間会計期間における総資産は64,120百万円となり、前事業年度末比1,743百万円の減少となりました。

流動資産は23,125百万円で、前事業年度末比943百万円の減少となりました。これは未収消費税の還付等によるその他1,299百万円の減少によるものであります。

固定資産は40,994百万円で、前事業年度末比799百万円の減少となりました。これは主に取得による増加1,415百万円、減価償却による減少2,505百万円によるものであります。

流動負債は19,722百万円で、前事業年度末比1,410百万円の減少となりました。これは主に設備関係未払金1,339百万円の減少によるものであります。

固定負債は19,121百万円で、前事業年度末比777百万円の減少となりました。これは主に長期借入金981百万円の減少によるものであります。

純資産合計は25,275百万円で、前事業年度末比443百万円の増加となりました。これは主に中間純利益570百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の業績予想につきましては、2025年5月9日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（2025年11月7日）に公表いたしました「2026年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,597	3,330
受取手形及び売掛金	7,371	7,433
商品及び製品	8,416	8,424
仕掛品	258	618
原材料及び貯蔵品	2,379	2,571
その他	2,055	755
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	24,069	23,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,511	16,151
機械装置及び運搬具（純額）	14,201	13,051
土地	4,912	5,444
建設仮勘定	697	507
その他（純額）	1,379	1,783
有形固定資産合計	37,702	36,938
無形固定資産		
その他	2,590	2,248
無形固定資産合計	2,590	2,248
投資その他の資産		
その他	1,501	1,807
投資その他の資産合計	1,501	1,807
固定資産合計	41,794	40,994
資産合計	65,864	64,120
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,676	5,198
短期借入金	4,600	5,600
1年内返済予定の長期借入金	6,125	5,989
設備関係未払金	1,848	509
未払法人税等	215	211
賞与引当金	933	659
その他の引当金	35	12
その他	1,698	1,541
流動負債合計	21,132	19,722
固定負債		
長期借入金	17,005	16,024
退職給付引当金	1,969	2,021
役員退職慰労引当金	115	123
その他	808	952
固定負債合計	19,899	19,121
負債合計	41,032	38,844

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618	1,618
資本剰余金	1,541	1,541
利益剰余金	21,529	21,901
自己株式	△93	△93
株主資本合計	24,596	24,968
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	234	307
評価・換算差額等合計	234	307
純資産合計	24,831	25,275
負債純資産合計	65,864	64,120

(2) 中間損益計算書

(単位: 百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	18,743	19,349
売上原価	14,133	15,909
売上総利益	4,609	3,440
販売費及び一般管理費	2,431	2,503
営業利益	2,178	937
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	8
受取家賃	12	14
生命保険配当金	12	1
補助金収入	51	41
受取補償金	39	—
その他	22	19
営業外収益合計	145	85
営業外費用		
支払利息	95	158
為替差損	155	24
その他	11	8
営業外費用合計	262	191
経常利益	2,060	831
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	50	3
特別損失合計	50	3
税引前中間純利益	2,009	827
法人税、住民税及び事業税	684	162
法人税等調整額	△65	95
法人税等合計	618	257
中間純利益	1,391	570

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	2,009	827
減価償却費	1,576	2,505
引当金の増減額(△は減少)	114	△237
受取利息及び受取配当金	△6	△8
支払利息	95	158
固定資産除却損	50	3
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	—
補助金収入	△51	△41
売上債権の増減額(△は増加)	604	△61
棚卸資産の増減額(△は増加)	△717	△560
仕入債務の増減額(△は減少)	1,618	△478
未払又は未収消費税等の増減額	△1,139	1,377
その他	392	△48
小計	4,547	3,437
利息及び配当金の受取額	6	8
利息の支払額	△106	△161
補助金の受取額	51	41
法人税等の支払額	△571	△153
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,926	3,171
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,930	△1,977
有形固定資産の売却による収入	0	—
有形固定資産の除却による支出	△48	△3
無形固定資産の取得による支出	△521	△661
投資有価証券の取得による支出	△0	△328
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,500	△2,972
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,900	1,000
長期借入れによる収入	900	2,000
長期借入金の返済による支出	△2,883	△3,117
リース債務の返済による支出	△106	△130
配当金の支払額	△158	△198
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,651	△446
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61	△20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16	△266
現金及び現金同等物の期首残高	3,645	3,597
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,661	3,330

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額	中間損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,203	7,540	18,743	—	18,743
外部顧客への売上高	11,203	7,540	18,743	—	18,743
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	205	205	△205	—
計	11,203	7,746	18,949	△205	18,743
セグメント利益	1,030	1,147	2,178	—	2,178

(注) セグメント利益は中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額	中間損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,760	7,588	19,349	—	19,349
外部顧客への売上高	11,760	7,588	19,349	—	19,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	177	177	△177	—
計	11,760	7,766	19,527	△177	19,349
セグメント利益又は損失(△)	△305	1,242	937	—	937

(注) セグメント利益は中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。